



市内公立中学校

卒業式



第44期 真志喜中学校 卒業式



第37期 宜野湾中学校 卒業式

**それぞれの道を
一生懸命に歩んでいこう**

卒業式当日は晴天に恵まれ、3月の心地よい日差しの中、今日で最後となる制服姿の卒業生と保護者の方々が参列しました。

宜野湾中学校で卒業生代表あいさつを行った松本晃佑さんは「3年間、このメンバーで過ごせて本当に良かったです。また、多くの時間を僕たちと過ごしてくれた先生方、ここまで育ててくれた保護者の皆さん、普段は言葉にできていませんが、感謝の気持ちでいっぱいです。これから先、それぞれが選んだ道を歩む中で、様々な課題や困難と直面することがあっても、ここで過ごした日々を思い出して、一生懸命歩んでいきます」と、思いを語りました。

これから、自ら選んだ新しい世界へと羽ばたいていく生徒の皆さん、卒業おめでとうございます。

制限の中での学校生活

3月11日（土）、市内公立中学校にて卒業式が執り行われ、今年も961人の生徒の皆さんが3年間過ごした学び舎を後にしました。

3年前、新たな学びの場となる中学校への入学式は、新型コロナウイルスの影響でひと月遅れとなり、入学後も、休校やマスク着用、黙食や距離をとるなど、想像していた中学校生活とは少し異なっていました。

学習活動や部活動、学校行事などには行動制限がかり、思うような中学校生活が送れない日々が続きましたが、そんな環境下でも努力と工夫を重ねることで、可能なかぎりの学習活動と、クラスメイトとの時間を共有することができました。

3年生になるころには、感染症対策を行いながら、各学年行事も執り行うことができ、仲間たちと多くの思い出を作ることができました。

夏が終わり、それぞれが進路を意識し始めると、クラスの雰囲気も少しずつ変わりはじめ、卒業が近づいて来ていることを皆が実感しはじめました。共に過ごしてきた仲間や先生と過ごせるのもあと少しの時間。

そう思うと、他愛ない会話や冗談を飛ばす笑顔の中に少しの寂しさが宿り始めました。